

府域の被害想定（人的被害・建物被害）  
の考え方について  
（部会長案）

# ハザードに伴う被害想定 of 検討ケース

項目	被害想定的手法 (概要)	検討条件
1 建物被害	1.1 揺れによる被害	① 震度分布：2 ケース
	1.2 液状化による被害	
	1.3 津波による被害	② 津波波源：4 ケース ③ 施設条件：3 ケース
	1.4 急傾斜地崩壊による被害	① 震度分布：2 ケース
	1.5 地震火災による被害	④ 季節・時間帯：3 ケース ⑤ 風速別：2 ケース
	1.6 津波火災による被害 <定性的>	—
2 物等落下	2.1 ブロック塀・自動販売機等の転倒	① 震度分布：2 ケース
	2.2 屋外落下物の発生	
3 人的被害	3.1 建物倒壊による被害	④ 季節・時間帯：3 ケース ⑥ 避難行動別：4 ケース (呼びかけ、避難開始迅速化、早期避難率高・低) ⑦ 避難昼夜別：2 ケース (昼・夜：火災のシーンと連動)
	3.2 津波による被害	
	3.3 急傾斜地崩壊による被害	④ 季節・時間帯：3 ケース
	3.4 火災による被害	④ 季節・時間帯：3 ケース ⑤ 風速別：2 ケース
	3.5 ブロック塀・自動販売機等の転倒、屋外落下物による被害	④ 季節・時間帯：3 ケース
	3.6 屋内収容物移動・転倒、屋内落下物による被害	
	3.7 揺れによる建物倒壊に伴う要救助者(自力脱出困難者)	
	3.8 津波被害に伴う要救助者・要捜索者	⑥ 避難行動別：4 ケース (呼びかけ、避難開始迅速化、早期避難率高・低) ⑦ 避難昼夜別：2 ケース (昼・夜：火災のシーンと連動)

※検討ケース数：①×②×③×④(⑦)×⑤×⑥=2×4×3×3×2×4=576ケース

# ①震度分布ケース

大阪府内で震度が大きくなる南海トラフの震源ケースは、**東側ケース**と**陸側ケース**。(2ケース)



最大の被害が想定される**陸側ケース**とする。  
(1ケース)

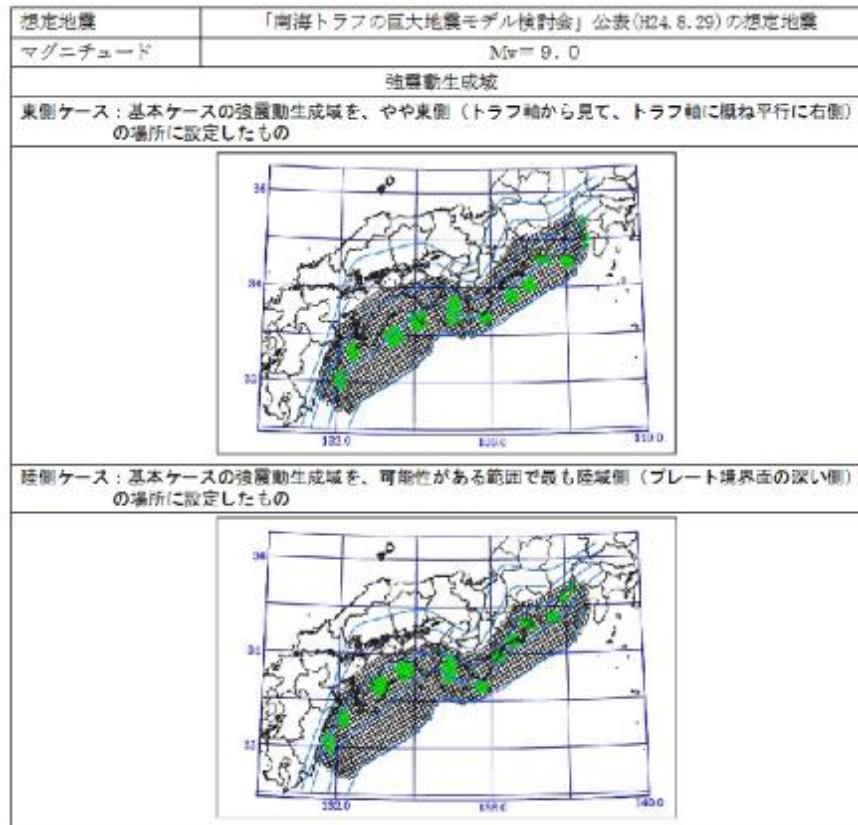


図 対象断層モデル図



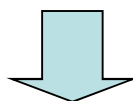
図 工学的基盤位置計測震度最大ケース

## ②③津波の波源・施設条件ケース

津波の波源ケース: 4ケース

施設条件 : 3ケース

計 : 12ケース



各ケースの浸水体積の合計が最大となる波源ケース④・施設条件1とする。(1ケース)

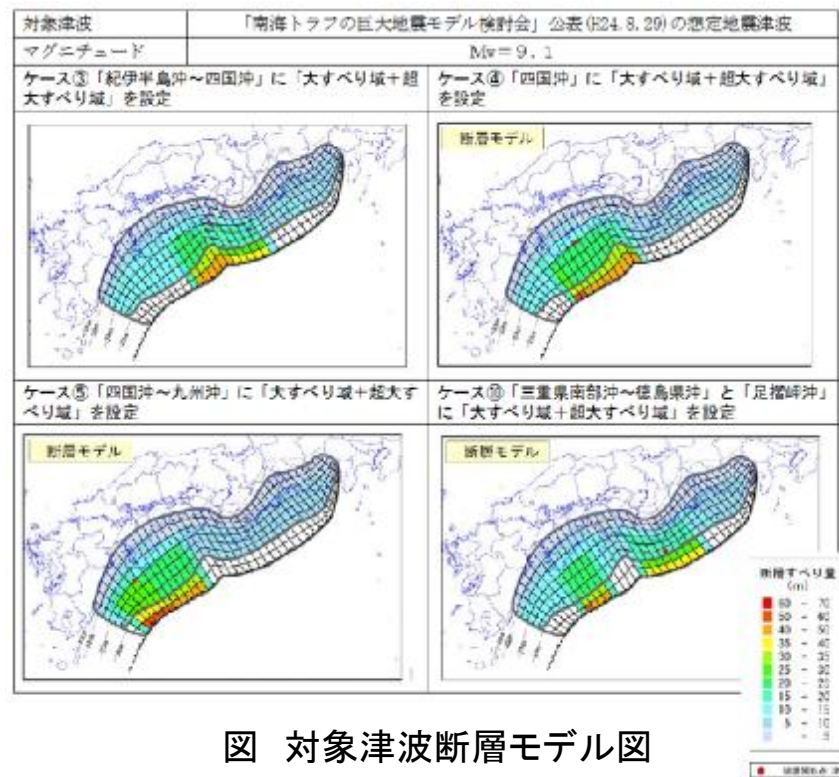


表 施設条件

	護岸・堤防高	水門	陸閘
条件 1	地震時沈下量を考慮	開放	
条件 2		閉鎖	
条件 3	地震時沈下量なし	開放	閉鎖

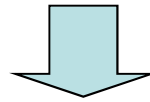
# 津波浸水体積の比較

	ケース3			ケース4		
	条件1	条件2	条件3	条件1	条件2	条件3
浸水体積 (百万m <sup>3</sup> )	119	113	44	120	112	42

	ケース5			ケース10		
	条件1	条件2	条件3	条件1	条件2	条件3
浸水体積 (百万m <sup>3</sup> )	113	105	36	116	110	38

## ④地震火災ケース(季節・時間帯)

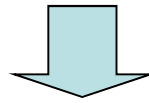
- 地震火災は、冬深夜、夏12時、冬18時。(3ケース)



- 内閣府の公表結果から、地震火災による被害が最大となるのは、**冬18時**(火気使用が最も多い時間帯)のケースと想定される。
- ただし、後述する津波による人的被害のケースとの整合を考慮し、**夏12時についても対象とする。**  
(2ケース)

## ⑤地震火災ケース(風速別)

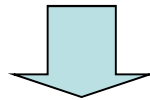
- 想定する風速は、平均風速、超過確率1%の風速。  
(2ケース)



- 平均風速よりも大きい**超過確率1%の風速**とする。  
(1ケース)

## ⑥津波による被害ケース（避難行動別）

- 避難行動別に、①全員が発災後すぐに避難を開始した場合、②早期避難者比率が高く、さらに避難の呼びかけが効果的に行われた場合、③早期避難者比率が高い場合、④早期避難者比率が低い場合。（4ケース）

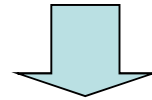


- 避難行動による効果を見るため、早期避難者比率が低い場合と全員が発災後すぐに避難を開始した場合とする。（2ケース）



## ⑦津波による被害ケース（避難時間別）

- 昼間発災に比べ、夜間発災の場合は、避難が遅れることが予測されるため、昼間、夜間。（2ケース）



- 大阪市内の昼間人口が多いため、**昼間発災の場合**と**夜間発災の場合**とする。（2ケース）

# 今回対象とする被害想定ケース

項目	検討条件		ケース数
震度分布	陸側ケース		1ケース
津波波源・施設条件	波源: ケース4 施設条件: 条件1		1ケース
地震火災	季節・時間帯	冬18時   夏12時	2ケース
	風速別	1%超過確率風速	1ケース
津波避難	行動別	早期避難者比率が低い場合	2ケース
		発災後すぐに避難した場合	
	時間帯	夜間   昼間	2ケース
組合せ合計			<b>4ケース</b>